

浜甲子園なぎさ街（第2次）

兵庫県西宮市



『ゆらぎ配置』により建物ボリュームを抑えた街なみを創出

タウンスケープをつくる団地再生

集合住宅の建替えは、ともすれば大きなボリューム、大きなスケールになりがちで、屋外空間も縮小されることが多く、従前住民の生活環境が大きく変わってしまうだけでなく、周辺を含む地域の環境が一気に変貌を遂げてしまうような例が多いものです。

浜甲子園なぎさ街（第2次）の再生では、この街にふさわしいボリュームの実現をめざし、【タウンスケープをつくる団地再生】をテーマとして、＜親空性＞や＜親街路性＞の実現を目標として、低層部のヒューマンなスケール感や美しいスカイラインに注力したデザインを行うと共に、街区にはゆったりした＜原っぱ広場＞を確保するなどして、団地・周辺・地域の人々に愛される、気持ちの良い住宅市街地景観を実現しました。

- 用途：共同住宅
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 規模：地上6～14階建
- 戸数：327戸
- 敷地面積：16,998.15㎡
- 建築面積：5,736.71㎡
- 延床面積：25,048.01㎡
- 住戸面積：43.95～79.64㎡
- 利用開始：2015年4月



立面図



配置コンセプト



住棟、歩道、並木等で快適な街路を創出した北側景観



専用庭、落下防止庇、色彩デザイン等により低層感を創出



沿道景観要素としてデザインした立体駐車場



街区内にゆったりした芝生の中庭『原っぱ広場』を確保



中層主体で高層が混在する広い空を享受できる形態